

開催日 2011年2月18日(金)

時間 第1部 10:30~/ 第2部 13:00~

会場 大阪市立大学高原記念館学友ホール

「都市関連研究機構」講演会

「空間から状況へ」のいま

建築専門ギャラリーである「TOTO・ギャラリー間」(東京)において、「空間から状況へ」というテーマで10組の若手建築家を招待して開催された同ギャラリー15周年記念展から今年でちょうど10年が経ちます。今回、当時の出展者のうち2名の建築家を招聘し、改めて建築デザインをめぐる今の「状況」を切り取りたいと考えます。

2人の講師は、建築設計をベースにしながらも、積極的にインフラストラクチャーやまちづくりにシフトした作品をつくることで知られています。松岡恭子氏の代表作である新北九州空港連絡橋は、建築デザイナーらしく長大橋を優美なフォルムを持つアーチ橋で実現したものです。曾我部昌史氏は、日本三大寄せ場の1つである寿町(横浜)の公園改修プロジェクトをはじめとして、日本各地のまちづくりにアーティスティックな視点から携わっておられます。第1部では、お二人のユニークな活動について講演をいただき、第2部では、本学建築学科学生の卒業設計作品の講評会にゲストクリティックとして参加していただく予定です。

10:30 第1部 講演会
-12:00 「空間から状況へ」のいま

13:00 第2部 建築学科卒業設計
-16:00 公開講評会

講師：

曾我部昌史 (みかんぐみ/神奈川大学工学部建築学科教授)

松岡恭子 (スピングラス・アーキテクト/東京電機大学未来科学部建築学科准教授)